



「東日本大震災」支援・横軸連携(姉妹校交流等)

■山田町立山田中学校と盛岡市内中学校（厨川・大宮・北陵中学校）との交流

目的 盛岡市内の中学校との部活動における交流を通し、友情を深めるとともに、切磋琢磨しながら競技力の向上に努める。

日時 平成27年8月29日(土)

場所 山田中学校 他

内容 部活交流（バスケットボール部（男女）・バレー部（女）・柔道部（男女）・剣道部（男））

成果と課題

(1) 成果

各校生徒の心も含めた交流が図られ、一時的な交流ではなく、良い意味での切磋琢磨が日頃よりなされ持続的な意義深い交流となっている。

(2) 課題

諸大会と日程が重なっていることにより、実施できない部活動があること。

文化部も含めた部活動交流を図ることができるか検討したいこと。



■野田村立野田中学校と矢巾町立矢巾中学校との交流

日時 平成27年7月27日(月)

場所 野田中学校

内容

- ・生徒会交流（今回は野田中ソーランを交流、エール交換）
- ・仮設住宅周辺の清掃やマッサージ体験、メッセージカードの贈呈など。



■全日本中学校長会役員が本県来訪

平成27年8月27日(木)に全日本中学校長会役員による東日本大震災被災3県（岩手、宮城、福島）への訪問が行われ、伊藤俊典会長、直田益明総務部長、中村豊支援委員長、堀井榮夫事務局長の4人が来県されました。岩手県中学校長会からは、佐藤嘉彦会長、平澤千麻子副会長、菅原正弘総務部長、古里真美書記が出席し、盛岡市立上田中学校にて情報交換が行われました。

はじめに、全日中の伊藤会長から、「被災3県への支援は継続的に行っていきたい。忌憚のない御意見をいただきたい等」の御挨拶をいただきました。

続いて、県中の菅原総務部長が7月31日から釜石市で行われた被災校情報交換会について報告いたしました。また、被災地の状況について写真によるプレゼンを行いました。次に、県中の佐藤会長から被災校の現状と課題について、校舎・施設、生徒・保護者、姉妹校連携の状況、今後の連携の在り方や要望等について資料に沿って説明がありました。また、全日中からの義援金活用に関して、部活動・生徒会交流等でのバス支援の状況について報告を行いました。

質疑・懇談では、全日中の役員の方々から国に対して教職員加配等の人的支援を要望していることや、防災教育の取組、風評被害をなくすこと、風化させない取組としてホームページや広報による情報発信を考えていること等についての話題があげられ、協議を深めることができました。

